

三木陽子〈Conduit (導管)〉2017年
清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 Photo: Kaoru MINAMINO



陶 金 漆

素材と表現

2018年

9.8 [土] — 10.14 [日]

月曜休館 (祝日の場合翌日)

9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館 9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館

10:00 — 18:00 (入館は 17:30 まで)

入場無料

主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市]

後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

伊丹市立工芸センター

The Museum of Arts & Crafts ITAMI

三木 陽子

Yoko MIKI

長谷川 政弘

Masahiro HASEGAWA

栗本 夏樹

Natsuki KURIMOTO

陶・金属・漆というそれぞれの素材表現を追求する3名の作家による展覧会を開催します。

自身の手から生み出す陶のオブジェと、それとは相反する工業製品を組み合わせた作品などを手掛ける三木陽子。一貫して金属という素材の特性を活かした制作を続け、野外でのインスタレーションも数多く手がける長谷川政弘。伝統的な漆を素材としながら現代的な造形を追求し、80年代以降の日本における漆造形の代表的な作家の一人に数えられる栗本夏樹。ものづくりにおいて、素材の選択は、それを生かす技法や形態を導き出すことであり、表現はあらゆる選択の上に成り立つ、素材の可能性でもあります。素材に魅せられた作家たちは、工芸や美術の枠にとらわれることなく、長年にわたって独自の表現を追い求めています。

本展では歴史と伝統をふまえた工芸の技法を踏襲しながらも、その境界を素材を軸に越境し表現を続ける3者の作品を紹介することで、現代における工芸のあり方と潜在的な力を再認識する契機となることを期待しています。

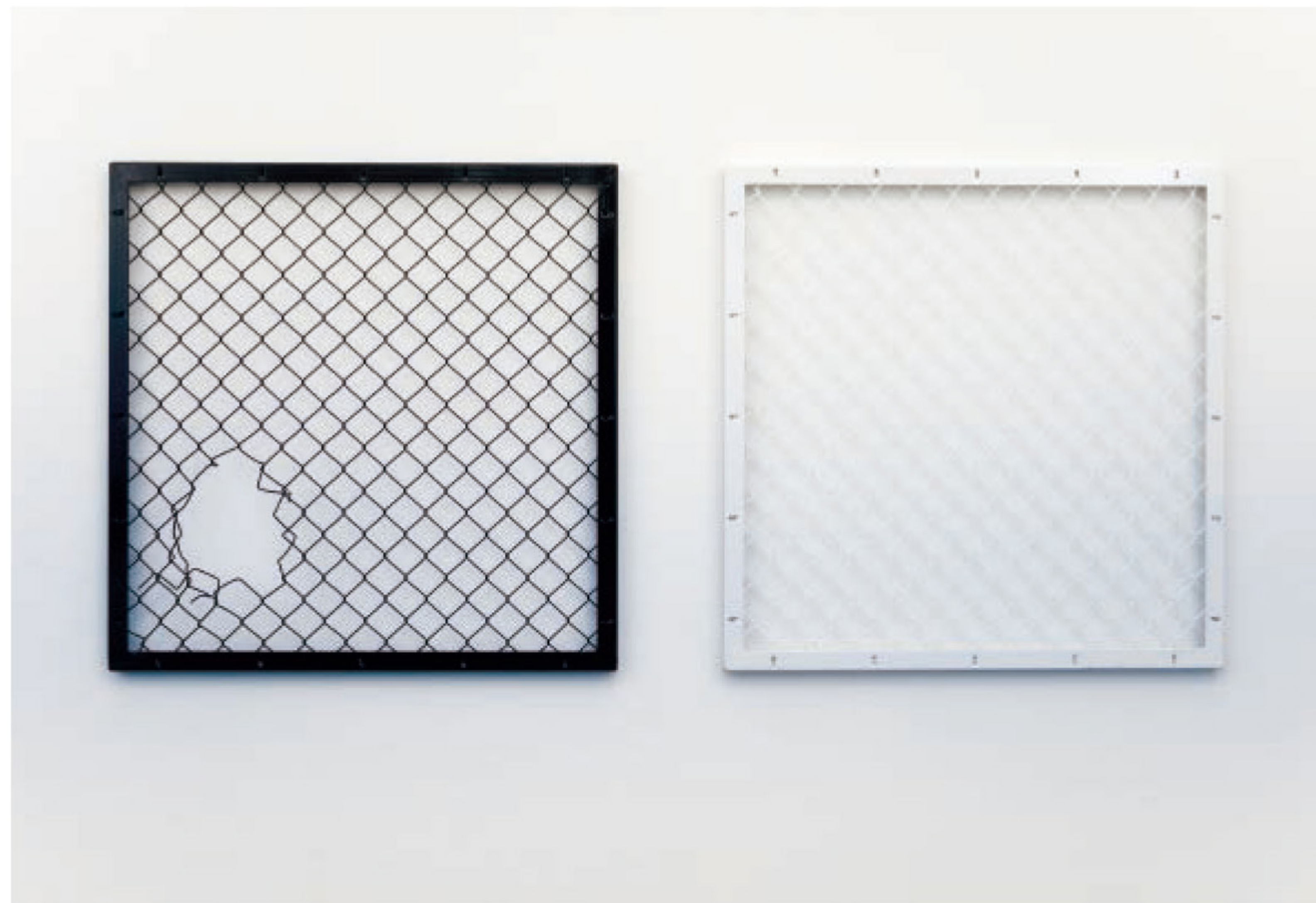
2018年
9.8 [土] — **10.14** [日]
月曜休館（祝日の場合翌日）9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館
9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館
10:00 — 18:00（入館は17:30まで）

入場無料

主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市] 後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

陶 金 漆

素材と表現



三木陽子《Before dark—公園》2013年 Photo: Kaoru MINAMINO



長谷川政弘《暝色の庭》2018年



栗本夏樹 法隆寺ギャラリー個展 2016年

トークセッション

「工芸と現代美術」
9月16日(日) 14:00 ~
出品作家とゲストによるトークセッション
ゲスト: 中井 康之(国立国際美術館 副館長)
進行: 多 忠秋(伊丹市立工芸センター 館長)
事前申込不要・無料

ロビーコンサート

「素材と表現 — 金属と音 —」
10月6日(土) 15:00 ~
出演: mollen
西洋のこぎり(ミュージカル・ソー)とギター
によるミニコンサート。金属が奏でる不思議な音色をお楽しみください。
事前申込不要・無料

三木 陽子 Yoko MIKI

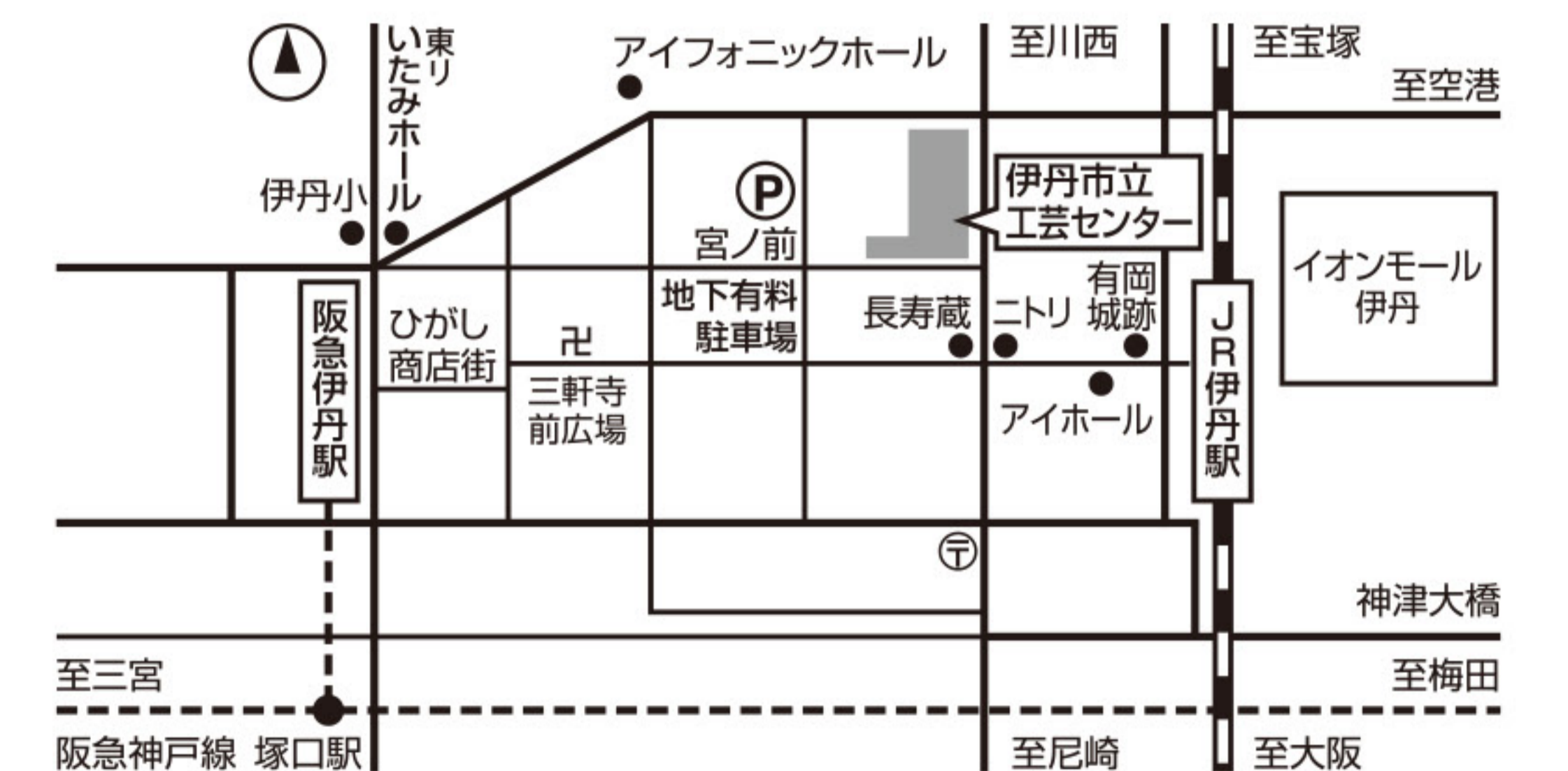
大阪芸術大学芸術学部芸術専攻科工芸専攻修了('88) / 第1回国際陶磁器展美濃 '86 入選(岐阜 | '86) / 八木一夫賞現代陶芸展入選('86, '87) / TUBE LIFE 京都芸術センター 2004(京都芸術センター | '04) / アジア現代陶芸 新世代の交感展(愛知県陶磁資料館 | '09, '12, '13) / 韓日米 青年作家交流展—逍遙遊—(韓国工芸文化振興院 | '09) / 台湾国際セラミックス・ビエンナーレ 2014(新北市立鶯歌陶磁博物館 | '14) / 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 入選(岐阜県美術館 | '17) / 大阪、京都、東京、岐阜など各地で個展、国内外でグループ展多数 / 現在 松蔭中学、高等学校美術科勤務、大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース非常勤講師

長谷川 政弘 Masahiro HASEGAWA

大阪芸術大学工芸学科金属工芸専攻卒業('84) / 金沢美術工芸大学 大学院 彫刻専攻修了('86) / 第5回風の芸術展ビエンナーレまくらざき 準大賞('97) / 日向現代彫刻展 市民大賞('98) / Emaar 国際アートシンポジウム(UAE/ドバイ | '04) / Lulea Summer ビエンナーレ(スウェーデン | '05) / 国際彫刻ビエンナーレ Chaco アルゼンチン 3等賞・彫刻家賞('06) / アブダビ国際彫刻シンポジウム(UAE/アブダビ | '11) / 東京、大阪、京都など各地で個展、国内外でグループ展多数 / 現在 大阪芸術大学工芸学科金属工芸コース 准教授

栗本 夏樹 Natsuki KURIMOTO

京都市立芸術大学大学院美術研究科修了('87) / Japanese Design(フィラデルフィア美術館, U.S.A. | '94) / 日本の現代工芸—伝統と前衛—展(ヴィクトリア&アルバート美術館 | '95) / ジュエリーの今: 変貌のオブジェ(東京国立近代美術館 | '06) / DOMANI・明日展(国立新美術館 | '09) / PLAY/PRAY あそぶ美術、おもう美術(豊田市美術館 | '11) / 栗本夏樹 漆造形展—いのちの再生—(伊丹市立工芸センター | '13) / 身も心も現代アートに恋い焦がれて(大分県立美術館 | '16) / 革新の工芸“伝統と前衛”、そして現代(東京国立近代美術館 | '16) / 現在 京都市立芸術大学美術学部 漆工研究室 教授



伊丹市立工芸センター The Museum of Arts & Crafts ITAMI

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
http://mac-itami.com

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
阪急バス | 伊丹中央停留所下車 北へ徒歩約3分

※駐車場はございませんので、宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。





2018年

9.8 [土] — 10.14 [日]

月曜休館（祝日の場合翌日）

9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館 9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館

10:00 — 18:00（入館は17:30まで） **入場無料**

主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市]

後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

伊丹市立工芸センター

The Museum of Arts & Crafts ITAMI

陶 金 漆

素材と表現

三木 陽子

Yoko MIKI

長谷川 政弘

Masahiro HASEGAWA

栗本 夏樹

Natsuki KURIMOTO

陶・金属・漆というそれぞれの素材表現を追求する3名の作家による展覧会を開催します。

自身の手から生み出す陶のオブジェと、それとは相反する工業製品を組み合わせた作品などを手掛ける三木陽子。一貫して金属という素材の特性を活かした制作を続け、野外でのインスタレーションも数多く手がける長谷川政弘。伝統的な漆を素材としながら現代的な造形を追求し、80年代以降の日本における漆造形の代表的な作家の一人に数えられる栗本夏樹。ものづくりにおいて、素材の選択は、それを生かす技法や形態を導き出すことであり、表現はあらゆる選択の上に成り立つ、素材の可能性でもあります。素材に魅せられた作家たちは、工芸や美術の枠にとらわれることなく、長年にわたって独自の表現を追い求めています。

本展では歴史と伝統をふまえた工芸の技法を踏襲しながらも、その境界を素材を軸に越境し表現を続ける3者の作品を紹介することで、現代における工芸のあり方と潜在的な力を再認識する契機となることを期待しています。

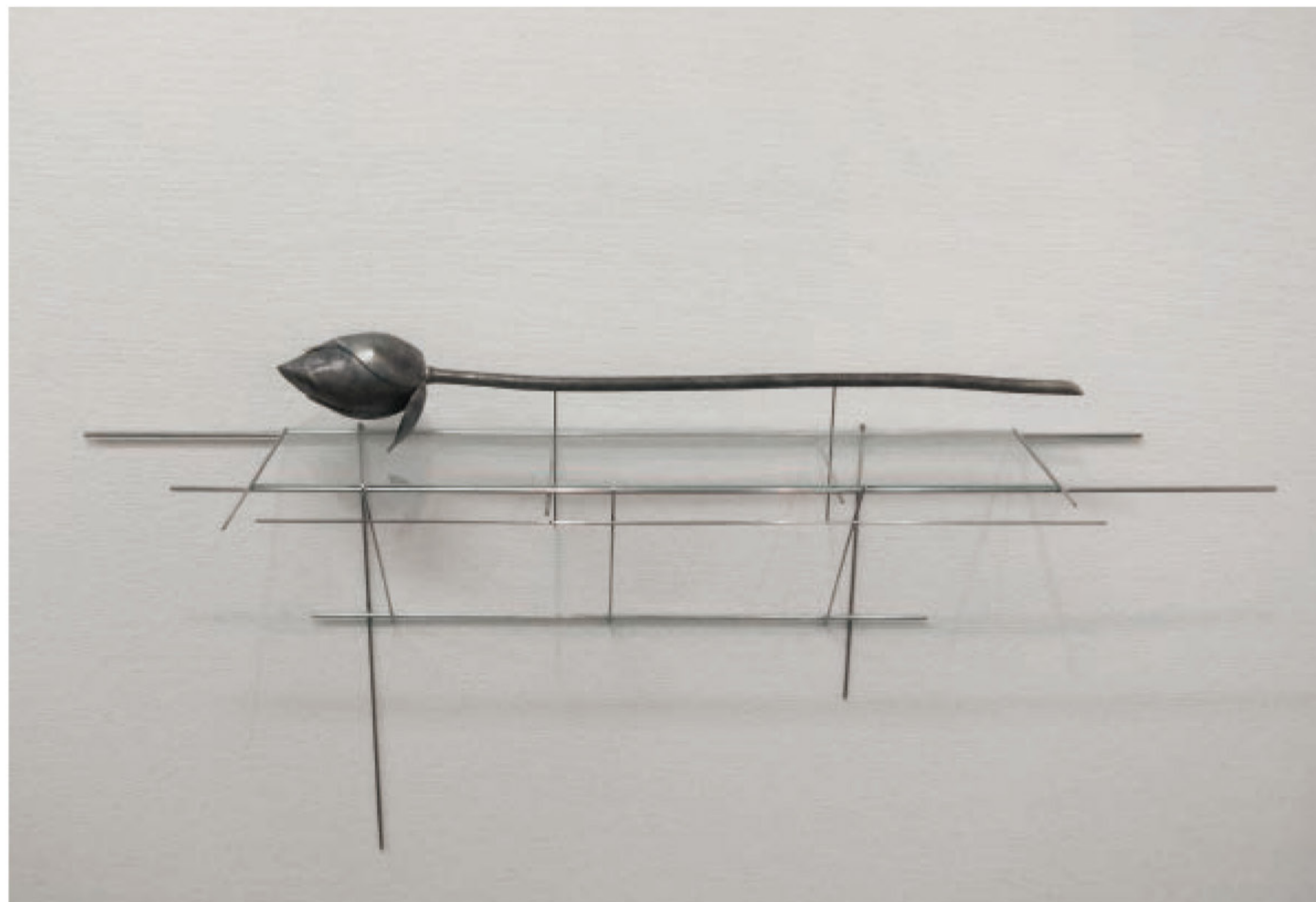
2018年
9.8 [土] — **10.14** [日]
月曜休館（祝日の場合翌日）9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館
9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館
10:00 — 18:00（入館は17:30まで）

入場無料

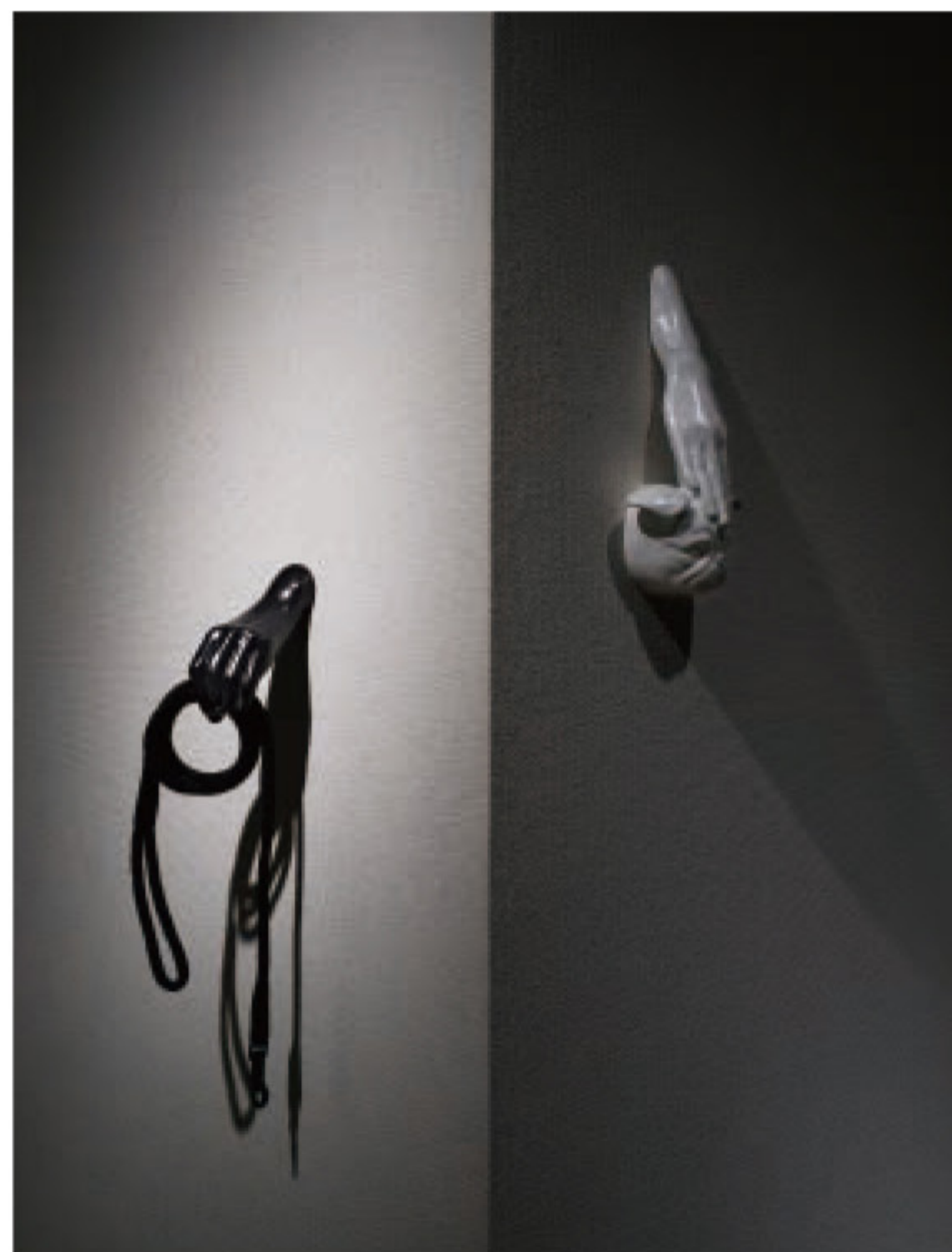
主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市] 後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

陶 金 漆

素材と表現



長谷川政弘《Lotus》2017年



三木陽子《Before dark - 犬とリード》2013年
Photo: Hiroshi OHNO



栗本夏樹 法隆寺ギャラリー個展 2016年

トークセッション

「工芸と現代美術」
9月16日(日) 14:00 ~
出品作家とゲストによるトークセッション
ゲスト: 中井 康之 (国立国際美術館 副館長)
進行: 多 忠秋 (伊丹市立工芸センター 館長)
事前申込不要・無料

ロビーコンサート

「素材と表現 — 金属と音 —」
10月6日(土) 15:00 ~
出演: mollen
西洋のこぎり (ミュージカル・ソー) とギター
によるミニコンサート。金属が奏でる不思議な音色をお楽しみください。
事前申込不要・無料

三木 陽子 Yoko MIKI

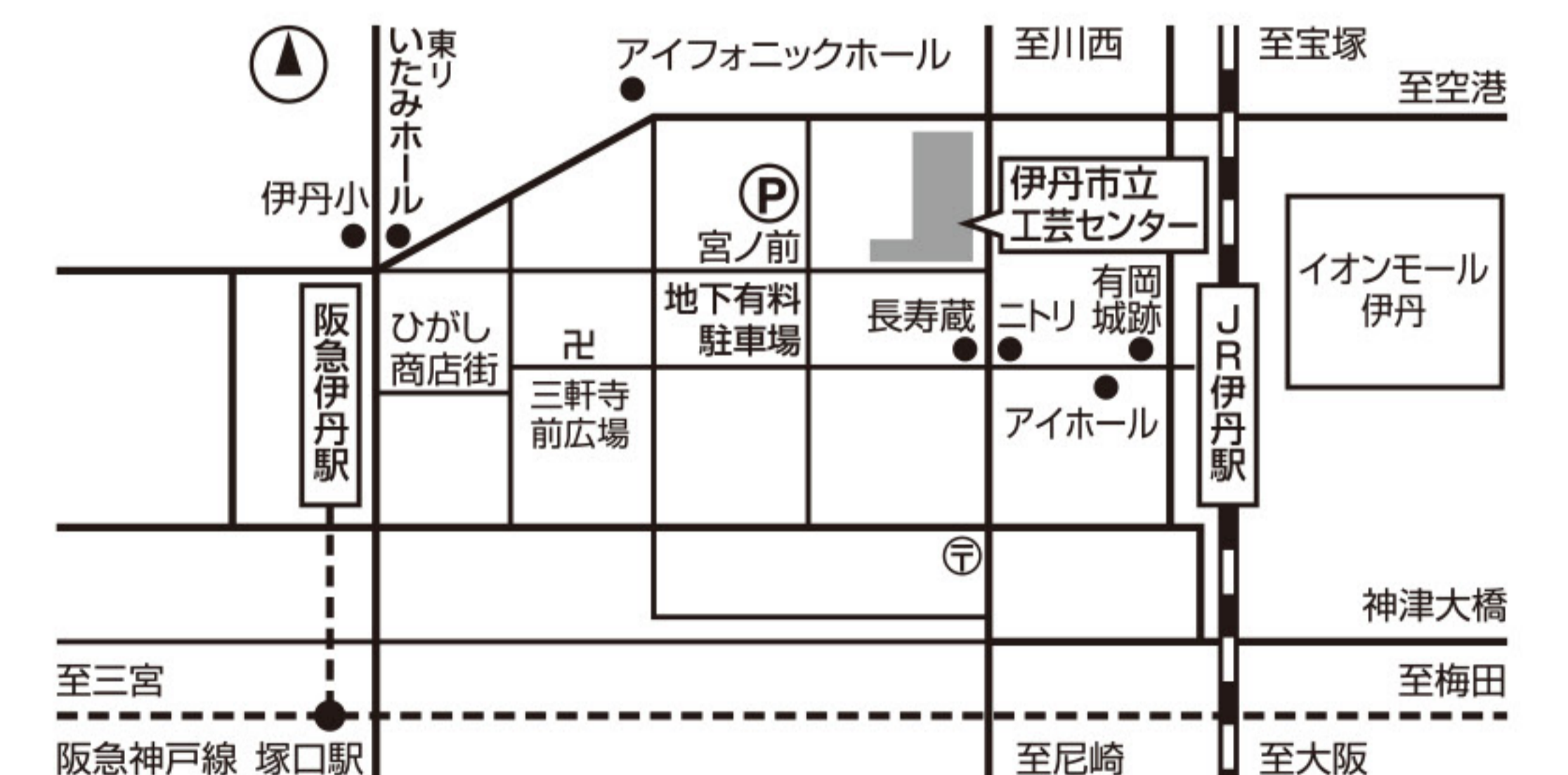
大阪芸術大学芸術学部芸術専攻科工芸専攻修了('88) / 第1回国際陶磁器展美濃 '86 入選(岐阜 | '86) / 八木一夫賞現代陶芸展入選('86, '87) / TUBE LIFE 京都芸術センター 2004 (京都芸術センター | '04) / アジア現代陶芸 新世代の交感展 (愛知県陶磁資料館 | '09, '12, '13) / 韓日米 青年作家交流展 - 逍遙遊 - (韓国工芸文化振興院 | '09) / 台湾国際セラミックス・ビエンナーレ 2014 (新北市立鶯歌陶磁博物館 | '14) / 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 入選(岐阜県美術館 | '17) / 大阪、京都、東京、岐阜など各地で個展、国内外でグループ展多数 / 現在 松蔭中学、高等学校美術科勤務、大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース非常勤講師

長谷川 政弘 Masahiro HASEGAWA

大阪芸術大学工芸学科金属工芸専攻卒業 ('84) / 金沢美術工芸大学 大学院 彫刻専攻修了 ('86) / 第5回風の芸術展ビエンナーレまくらざき 準大賞 ('97) / 日向現代彫刻展 市民大賞 ('98) / Emaar 国際アートシンポジウム (UAE/ドバイ | '04) / Lulea Summer ビエンナーレ (スウェーデン | '05) / 国際彫刻ビエンナーレ Chaco アルゼンチン 3等賞・彫刻家賞 ('06) / アブダビ国際彫刻シンポジウム (UAE/アブダビ | '11) / 東京、大阪、京都など各地で個展、国内外でグループ展多数 / 現在 大阪芸術大学工芸学科金属工芸コース 准教授

栗本 夏樹 Natsuki KURIMOTO

京都市立芸術大学大学院美術研究科修了 ('87) / Japanese Design (フィラデルフィア美術館, U.S.A. | '94) / 日本の現代工芸 - 伝統と前衛 - 展 (ヴィクトリア&アルバート美術館 | '95) / ジュエリーの今: 変貌のオブジェ (東京国立近代美術館 | '06) / DOMANI・明日展 (国立新美術館 | '09) / PLAY/PRAY あそぶ美術、おもう美術 (豊田市美術館 | '11) / 栗本夏樹 漆造形展 - いのちの再生 - (伊丹市立工芸センター | '13) / 身も心も現代アートに恋い焦がれて (大分県立美術館 | '16) / 革新の工芸 "伝統と前衛"、そして現代 (東京国立近代美術館 | '16) / 現在 京都市立芸術大学美術学部 漆工研究室 教授



伊丹市立工芸センター The Museum of Arts & Crafts ITAMI

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
<http://mac-itami.com>

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
阪急バス | 伊丹中央停留所下車 北へ徒歩約3分

※駐車場はございませんので、宮ノ前地下駐車場[有料]をご利用ください。





陶 金 漆

素材と表現

2018年

9.8 [土] — 10.14 [日]

月曜休館（祝日の場合翌日）

9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館 9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館

10:00 — 18:00（入館は17:30まで）

入場無料

主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市]

後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

伊丹市立工芸センター

The Museum of Arts & Crafts ITAMI

三木 陽子

Yoko MIKI

長谷川 政弘

Masahiro HASEGAWA

栗本 夏樹

Natsuki KURIMOTO

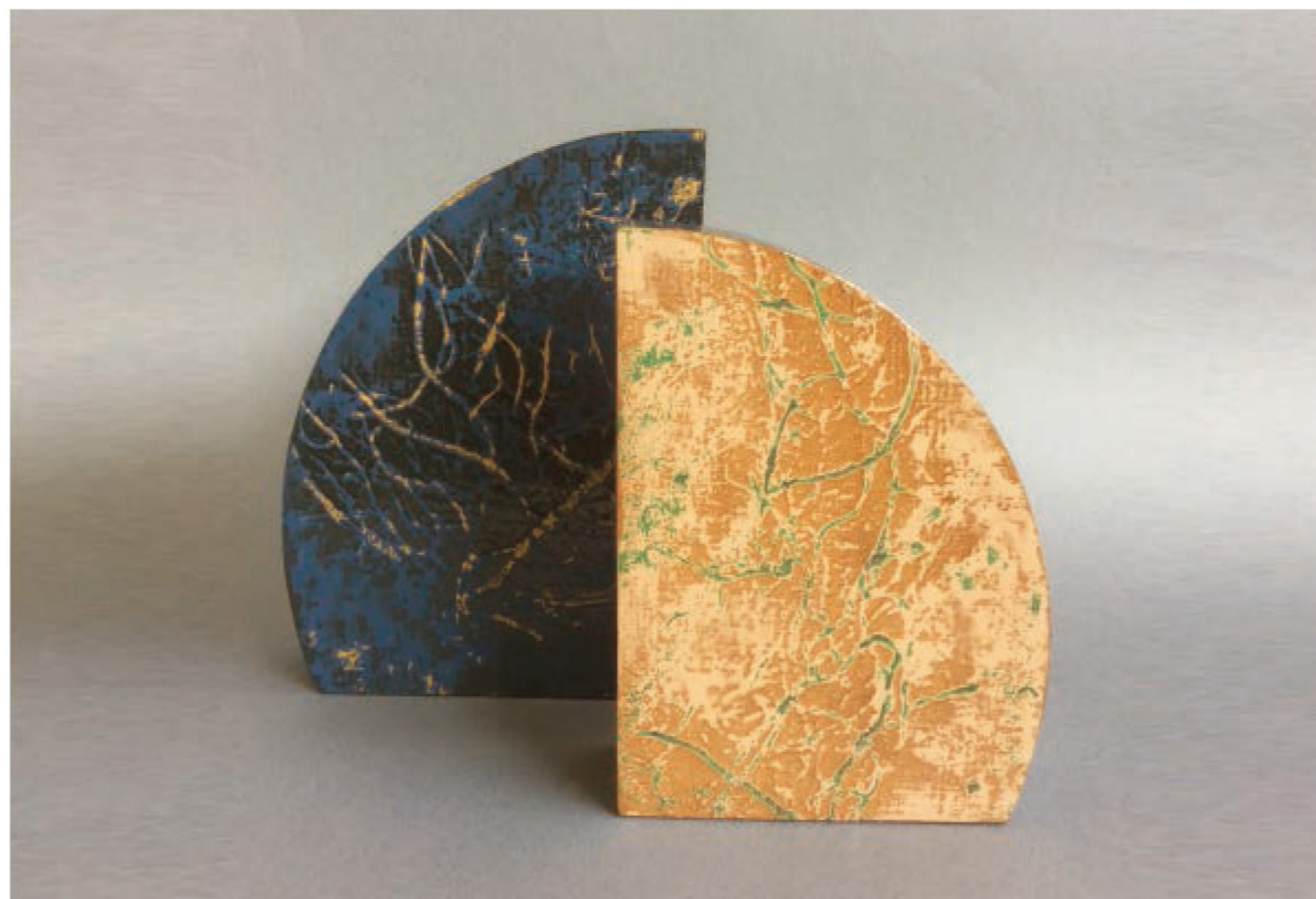
陶・金属・漆というそれぞれの素材表現を追求する3名の作家による展覧会を開催します。

自身の手から生み出す陶のオブジェと、それとは相反する工業製品を組み合わせた作品などを手掛ける三木陽子。一貫して金属という素材の特性を活かした制作を続け、野外でのインスタレーションも数多く手がける長谷川政弘。伝統的な漆を素材としながら現代的な造形を追求し、80年代以降の日本における漆造形の代表的な作家の一人に数えられる栗本夏樹。ものづくりにおいて、素材の選択は、それを生かす技法や形態を導き出すことであり、表現はあらゆる選択の上に成り立つ、素材の可能性でもあります。素材に魅せられた作家たちは、工芸や美術の枠にとらわれることなく、長年にわたって独自の表現を追い求めています。

本展では歴史と伝統をふまえた工芸の技法を踏襲しながらも、その境界を素材を軸に越境し表現を続ける3者の作品を紹介することで、現代における工芸のあり方と潜在的な力を再認識する契機となることを期待しています。

陶 金 漆

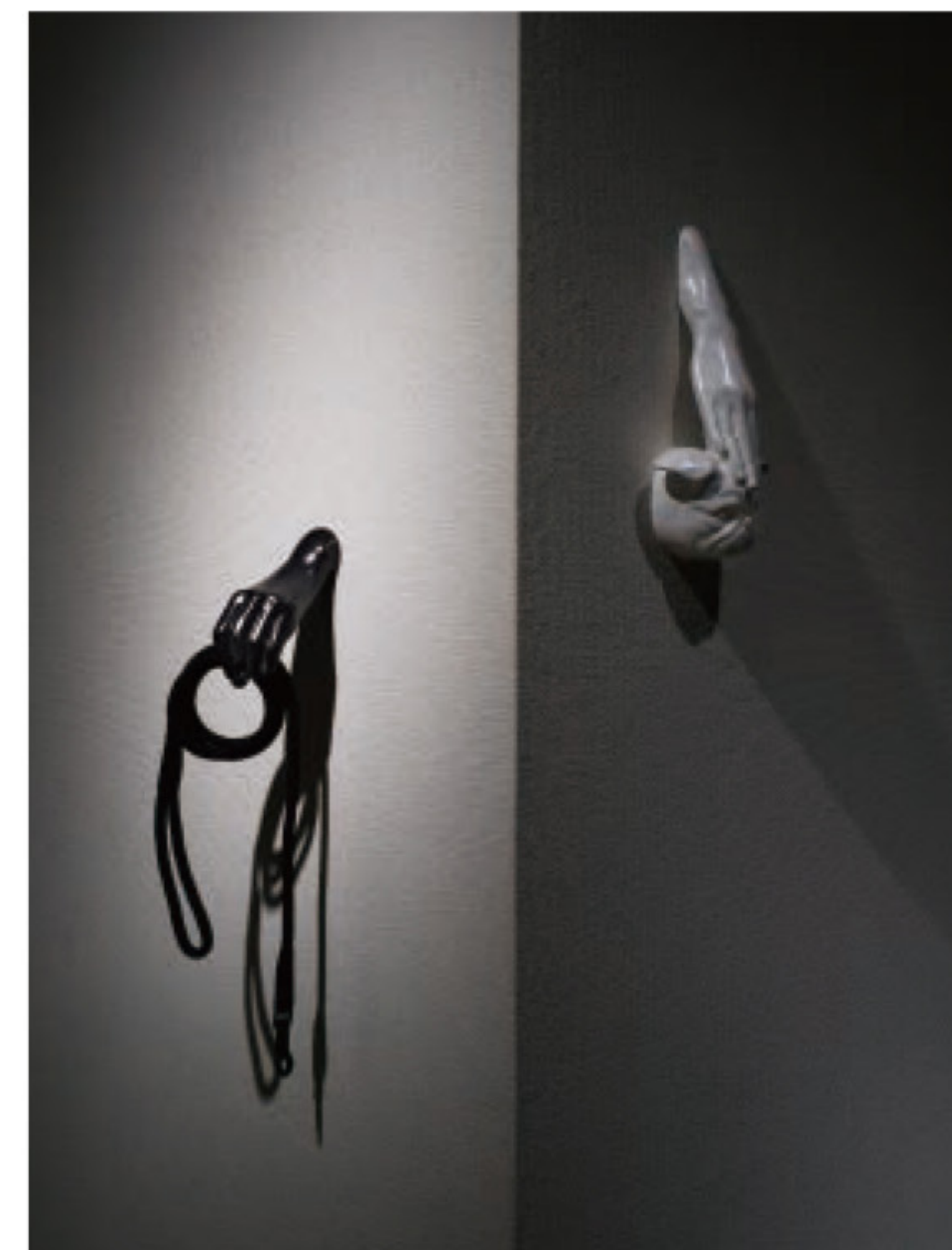
素材と表現



栗本夏樹《山河》2016年



長谷川政弘《暝色の庭》2018年



三木陽子《Before dark—犬とリード》2013年
Photo: Hiroshi OHNO

2018年
9.8 [土] — **10.14** [日]

月曜休館（祝日の場合翌日）9/17 [月]、9/24 [月]、10/8 [月] は開館
9/18 [火]、9/25 [火]、10/9 [火] は休館

10:00 — 18:00（入館は17:30まで）

入場無料

トークセッション

「工芸と現代美術」
9月16日（日）14:00～
出品作家とゲストによるトークセッション
ゲスト：中井 康之（国立国際美術館 副館長）
進行：多 忠秋（伊丹市立工芸センター 館長）
事前申込不要・無料

ロビーコンサート

「素材と表現 — 金属と音 —」
10月6日（土）15:00～
出演：mollen
西洋のこざり（ミュージカル・ソー）とギター
によるミニコンサート。金属が奏でる不思議な音色をお楽しみください。
事前申込不要・無料

主催 _ 伊丹市立工芸センター [公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市] 後援 _ 伊丹市教育委員会、大阪芸術大学

三木 陽子 Yoko MIKI

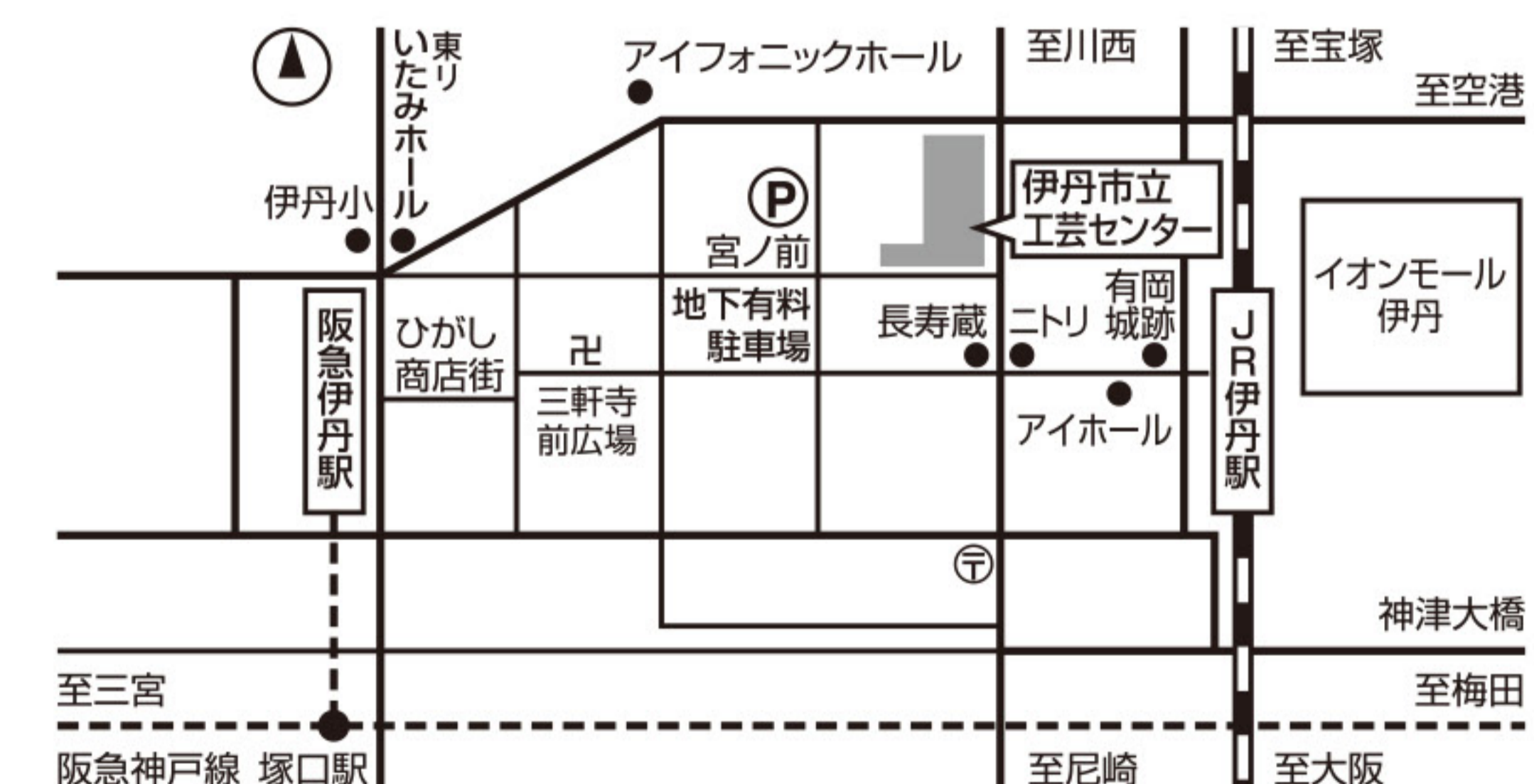
大阪芸術大学芸術学部芸術専攻科工芸専攻修了（'88）／第1回国際陶磁器展美濃 '86 入選（岐阜 | '86）／八木一夫賞現代陶芸展入選（'86, '87）／TUBE LIFE 京都芸術センター 2004（京都芸術センター | '04）／アジア現代陶芸 新世代の交感展（愛知県陶磁資料館 | '09, '12, '13）／韓日米 青年作家交流展 一逍遙遊—（韓国工芸文化振興院 | '09）／台湾国際セラミックス・ビエンナーレ 2014（新北市立鶯歌陶磁博物館 | '14）／清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 入選（岐阜県美術館 | '17）／大阪、京都、東京、岐阜など各地で個展、国内外でグループ展多数／現在 松蔭中学、高等学校美術科勤務、大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース非常勤講師

長谷川 政弘 Masahiro HASEGAWA

大阪芸術大学工芸学科金属工芸専攻卒業（'84）／金沢美術工芸大学 大学院 彫刻専攻修了（'86）／第5回風の芸術展ビエンナーレまくらざき 準大賞（'97）／日向現代彫刻展 市民大賞（'98）／Emaar 国際アートシンポジウム（UAE/ドバイ | '04）／Lulea Summer ビエンナーレ（スウェーデン | '05）／国際彫刻ビエンナーレ Chaco アルゼンチン 3等賞・彫刻家賞（'06）／アブダビ国際彫刻シンポジウム（UAE/アブダビ | '11）／東京、大阪、京都など各地で個展、国内外でグループ展多数／現在 大阪芸術大学工芸学科金属工芸コース 准教授

栗本 夏樹 Natsuki KURIMOTO

京都市立芸術大学大学院美術研究科修了（'87）／Japanese Design（フィラデルフィア美術館, U.S.A. | '94）／日本の現代工芸—伝統と前衛—展（ヴィクトリア&アルバート美術館 | '95）／ジュエリーの今：変貌のオブジェ（東京国立近代美術館 | '06）／DOMANI・明日展（国立新美術館 | '09）／PLAY/PRAY あそぶ美術、おもう美術（豊田市美術館 | '11）／栗本夏樹 漆造形展—いのちの再生—（伊丹市立工芸センター | '13）／身も心も現代アートに恋い焦がれて（大分県立美術館 | '16）／革新の工芸 “伝統と前衛”、そして現代（東京国立近代美術館 | '16）／現在 京都市立芸術大学美術学部 漆工研究室 教授



伊丹市立工芸センター The Museum of Arts & Crafts ITAMI

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-5-28
TEL: 072-772-5557 / FAX: 072-772-5558
http://mac-itami.com

阪急 | 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR | 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
阪急バス | 伊丹中央停留所下車 北へ徒歩約3分

※駐車場はございませんので、宮ノ前地下駐車場 [有料] をご利用ください。

